

切手プロジェクトの報告

1. プロジェクトの概要

(1) 立ち上げの経緯

切手プロジェクトは、平成25年度 生田緑地マネジメント会議 第1回運営会議において、生田緑地のPRを目的に、郵便局と連携して生田緑地オリジナル切手を作りたいという提案があり、切手プロジェクトが立ち上がった。

(2) 目的

生田緑地の様々な魅力をPRするために、生田緑地のオリジナルフレーム切手および生田緑地の新しい風景印を作成する

2. プロジェクト会議会長（リーダー）・メンバーについて

プロジェクト会議会長：向ヶ丘遊園の緑を守り、市民いこいの場を求める会 松岡嘉代子

プロジェクトメンバー：向ヶ丘遊園の緑を守り、市民いこいの場を求める会 石田阿憲子
のぼりとゆうえん隊 大菊健太
生田緑地の雑木林を育てる会 白澤光代
生田緑地整備事務所 他

3. 協力郵便局

川崎野川郵便局、川崎溝ノ口郵便局、川崎長沢郵便局、川崎久未郵便局

4. プロジェクト会議の開催概要

プロジェクト会議については、「記念切手・風景印の作成の打ち合わせ」、「第1回切手プロジェクト」、「第2回切手プロジェクト」の計3回行われた。

詳細については資料-1（打ち合せ議事録）に示す。

5. プロジェクト会議の成果

(1) 生田緑地オリジナルフレーム切手

価格は1,200円で、部数は1,500部限定で10月18日（金）から川崎市内94局の郵便局や生田緑地東口ビジターセンターで販売された。10月19日の多摩区民祭でも郵便局臨時出張所で販売された。

切手のデザインは、プロジェクトメンバーおよびマネジメント会議会員に写真の提供を呼びかけ、切手のデザインを選定した。切手に「協力：生田緑地マネジメント会議」と記載した。切手のデザインを資料-2（切手デザイン完成版）示す。

その他、10月18日（金）に、川崎市長への切手贈呈式が行われ、生田緑地マネジメント会議会長、副会長、切手プロジェクトメンバー立ち会いの下、日本郵便株式会社の南関東支社長から川崎市長へ切手等が贈呈された。（資料-3 贈呈式概要・写真）

メディア掲載として、神奈川新聞等に生田緑地マネジメント会議が生田緑地魅力発信のためにオリジナルフレーム切手を作成したことが掲出された。

また、川崎市長への切手の贈呈式については、タウンニュース多摩区版に掲載された。**(資料-4 切手プロジェクトに関わる新聞記事)**

(2) 切手解説書の作成

生田緑地オリジナルフレーム切手のデザインとなった場所や施設等をわかりやすく伝えるために解説書を、プロジェクトメンバーで作成した。解説書を**資料-5 (生田緑地オリジナルフレーム切手解説書)**に示す。

(3) 風景印の作成

多摩区内郵便局 12 局のうち 9 局で、生田緑地内の施設や風景を題材とした風景印をリニューアルすることになり、生田緑地マネジメント会議が協力し、10 月 1 日 (火) にリニューアルされた。風景印リニューアルに際して、多摩区の観光資源である生田緑地を題材に、生田緑地マネジメント会議から日本民家園やばら苑などの写真をデザインの素材として提供し、9 局全て違うデザインで作成した。風景印デザインは、**資料-6 (風景印デザイン)**に示す。

※風景印は、正式名称を「風景入通信日付印 (ふうけいいりつうしんひづけいん)」といい、郵便局で使用される消印のひとつで、各郵便局の地元の名所や史跡、天然記念物等が描かれた日付入りスタンプである。消印なので、50 円以上の切手を貼った台紙や郵便はがきを郵便局窓口を持参すると押印できる。

贈呈式 風景



